

岡山県の児童・生徒の学力を高める家庭生活や家庭学習について

About Home Life and Studying at Home to Raise Students' Academic Ability in Okayama

(2015年3月31日受理)

森上敏夫

Toshio Morikami

Key words : 岡山県の児童・生徒, 全国学力・学習状況調査, 学力, 家庭生活, 家庭学習

要 約

本稿は、情報化の進展が著しい今日の児童・生徒のテレビ視聴時間・ゲームやスマートフォンの使用時間、家庭学習や家庭生活の状況を平成26年度全国学力・学習状況調査質問紙調査結果のデータをもとに明らかにした。児童・生徒の学力を高めるためには、学校における授業改善を進めるとともに児童・生徒の家庭学習の充実が重要である。本稿では、平成26年度全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙及び学校質問紙調査結果の岡山県と学力調査で上位にある秋田県及び全国のデータを比較分析することによって、岡山県の児童・生徒の家庭生活・家庭学習の問題点や家庭学習の改善のための学校の働きかけ等の方策について考察した。また、先行研究を参考にして、児童・生徒の学力を高める保護者の家庭生活における意識行動について考察し、家庭生活で留意すべき事項をまとめた。

1. 本研究の目的

戦後、70年が経過し、子どもを取り巻く環境は急速に変化し、戦後の高度経済成長による産業構造の変化・都市化・少子化・核家族化・情報化により、子どもの遊びも生活も大きく変化してきた。

1983年のファミリーコンピュータの発売以降、テレビゲームは急速に普及し、子どもの遊びの重要なアイテムになっている。現在、街角や電車内において多くの人が携帯電話やスマートフォンを扱っている姿が日常の光景となっている。

児童・生徒の家庭生活におけるテレビの視聴やテレビゲームや携帯電話やスマートフォンの使用状況と家庭学習の状況を平成26年度全国学力・学習状況調査質問紙調査結果のデータを分析して明らかにしたい。

岡山県の児童・生徒の学力の状況は、平成26年度全国学力・学習状況調査においては、小学校6年生（以下「児

童」）の平均正答率は国語A71.4%（全国72.9%）、国語B54.5%（全国55.5%）、算数A77.8%（全国78.1%）、算数B56.6%（全国58.2%）であり、全ての科目において全国平均を下回り、都道府県順位は全体で38位である。また、中学校3年生（以下「生徒」）の平均正答率は、国語A78.2%（全国79.4%）、国語B48.1%（全国51.0%）、数学A65.4%（全国67.4%）、数学B55.9%（全国59.8%）であり、全ての教科で1.2～3.9ポイント下回り、都道府県順位は全体で42位であり、岡山県の児童・生徒の学力状況には、大きな課題がある。

児童・生徒の学力を向上させるためには、学校における授業改善とともに家庭生活や家庭学習の改善が必要である。

2007（平成17）年度より実施された全国学力・学習状況調査において、児童・生徒の生活習慣や学習環境に関する質問紙調査や学校の指導方法等に関する質問紙調査が実施され、調査結果のデータが公表されている。この

データを全国学力調査において良好な結果を生み出した秋田県と岡山県、全国平均とを比較分析することによって、岡山県の児童・生徒の家庭生活や家庭学習の問題点を明らかにし、改善の方策を明らかにしたい。また、先行研究を参考にして、児童・生徒の学力を高める保護者の家庭生活における意識行動について考察し、家庭生活で留意すべき事項をまとめることを研究目的とした。

2. 「全国学力・学習状況調査」

全国学力調査は、1956(昭和31)年度に全国の小中学生、高校生の抽出調査から始まり、1961(昭和36)年度に第1回中学校2・3年生の悉皆調査が実施された。これに対して日本教職員組合等は激しい「学テ闘争」を繰り広げ、また、学校や地域間の競争が激化した。1965(昭和40)年度より中学生の学力調査が悉皆調査から抽出調査になり、1966(昭和41)年に旭川地方裁判所が、国による学力調査は違法と認定したことにより1966(昭和41)年をもって終わった。

なお、旭川学力調査事件の最高裁判決は1976(昭和51)年に出され、全国学力調査は適法な調査であると認定された。

1998(平成10)年に告示された学習指導要領は、学校週5日制への移行、教育内容の3割削減、総合的な学習の時間の新設など注目を浴びた。1999(平成11)年『分数の分からない大学生』(東洋経済新報社)が著され、学力低下論争やゆとり教育批判が起こった。

学力低下の問題が社会問題化したことに対して、文部科学省は、2002(平成14)年、「確かな学力向上のための2002アピール」を発表し、各学校に基礎・基本の徹底や学習指導要領を超える発展学習の実施等を促した。2004年(平成16年)には、経済協力開発機構(OECD)のPISAの国際学力調査(2003年実施)で順位が下がり「PISAショック」に見舞われ、中山文部科学大臣は、「競い合う学力は必要」と全国学力テストを提唱した。

2005(平成17)年中央教育審議会は、全国学力調査の実施を答申し、2007(平成19)年度「全国学力・学習状況調査」(国語・算数・数学)が小学校第6学年と中学校第3学年の児童・生徒の悉皆調査として実施された。併せて学習や生活について質問紙調査を実施し、学習内

容の定着状況と家庭での学習や生活習慣も振り返ることができるように計画された。

文部科学省は、学力調査を活用した専門的な課題分析に関する調査研究を委託し、早稲田大学(研究代表者田中博之)(2011)は、「全国学力・学習状況調査において比較的良好的結果を示した教育委員会・学校等における教育施策・教育指導等の特徴に関する調査研究」において、秋田県と福井県の取り組みや特徴を報告している。

2013(平成25)年度全国学力・学習状況調査では「きめ細かい調査」において、追加調査(「保護者に対する調査」)も実施された。これは、家庭状況と児童・生徒の学力の関係等について分析するために、児童・生徒の家庭における状況、保護者の教育に関する考え等を調査した。

各教育委員会・学校は、全国学力・学習状況調査や独自に実施した学力調査結果を分析し、授業改善や児童・生徒の学習状況の改善に努めている。

3. 岡山県の児童・生徒の家庭学習や家庭生活の状況

「平成26年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙調査」における、岡山県・秋田県・全国の児童・生徒の家庭の学習時間、テレビの視聴時間、ゲームや携帯電話やスマートフォン等の使用時間や家庭生活の状況等を示すデータは、表1・2のとおりである。

(1) 家庭学習時間

「学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしていますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)」の質問紙項目に対して、岡山県の児童は、3時間以上は9.9%(秋田県3.6%, 全国11.2%), 2時間以上は25.2%(秋田県14.4%, 全国25.8%), 1時間以上は65.0%(秋田県70.6%, 全国62.0%), 30分以上は89.8%(秋田県96.0%, 全国87.2%), 全くしない児童は2.3%(秋田県0.8%, 全国3.2%)である。岡山県の児童は、家庭学習の時間は全国平均に近く、2時間以上の割合は、秋田県より10.8ポイント上回っているが、1時間以上の割合は秋田県より5.6ポイント少なく、全国平均より3.0ポイント上回っている。

岡山県の児童・生徒の学力を高める家庭生活や家庭学習について

表1 平成26年度全国学力・学習状況調査 回答結果集計 [児童質問紙] 小学校調査
岡山県・秋田県・全国 児童（公立）

	児童数	学校数		児童数	学校数
岡山県（公立）	17,203	393	秋田県（公立）	7,834	220

※【その他】とは、『選択肢以外の回答や複数回答』されたものである。

1段目：岡山県の児童数の割合(%) 2段目：秋田県の児童数の割合(%)
 3段目：全国(公立)の児童数の割合(%)

質問番号	質問事項	選 択 肢								その他	無回答
		1	2	3	4	5	6	7	8		
(1)	朝食を毎日食べていますか	87.9	8.0	3.4	0.7					0.1	0.0
		90.9	6.6	2.0	0.5					0.0	0.0
		88.1	7.9	3.2	0.7					0.0	0.0
(2)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	36.8	41.3	18.0	3.8					0.1	0.0
		42.7	41.4	13.6	2.2					0.0	0.0
		37.4	41.8	17.0	3.8					0.0	0.0
(3)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	57.7	32.8	7.7	1.7					0.1	0.0
		63.9	29.8	5.5	0.9					0.0	0.0
		58.0	32.9	7.3	1.7					0.0	0.0
(11)	普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか（テレビゲームをする時間は除く）	19.7	18.2	24.2	24.6	11.9	1.2			0.1	0.0
		16.1	17.7	25.0	27.5	12.7	1.0			0.0	0.0
		19.8	18.2	23.3	24.5	12.6	1.5			0.1	0.0
(12)	普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯型のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか	8.9	8.2	13.5	23.9	32.1	13.2			0.1	0.0
		5.8	7.4	13.9	27.8	31.7	13.4			0.1	0.0
		8.9	8.1	13.3	24.4	31.8	13.4			0.1	0.0
(13)	普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く）	2.4	2.4	3.8	6.4	9.8	25.1	49.8		0.1	0.0
		1.1	1.5	2.6	4.8	7.5	18.6	63.8		0.0	0.0
		2.7	2.3	3.7	6.4	10.4	28.2	46.3		0.1	0.0
(14)	学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）	9.9	15.3	39.8	24.8	7.8	2.3			0.1	0.0
		3.6	10.8	56.2	25.4	3.1	0.8			0.0	0.0
		11.2	14.6	36.2	25.2	9.5	3.2			0.1	0.0
(15)	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）	5.3	5.1	12.3	32.0	35.2	10.0			0.1	0.0
		2.5	5.7	21.8	52.1	16.6	1.2			0.0	0.0
		6.4	5.1	12.5	31.9	33.4	10.6			0.1	0.0
(16)	学習塾（家庭教師を含む）で勉強をしていますか	50.6	23.0	7.9	9.8	8.4				0.2	0.1
		77.4	8.8	3.7	3.9	6.0				0.1	0.0
		52.1	22.8	7.6	9.1	8.2				0.2	0.1
(17)	学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）	8.0	11.0	20.1	25.7	16.8	18.3			0.1	0.0
		5.9	8.9	21.3	32.5	14.9	16.4			0.0	0.0
		7.6	10.4	20.2	26.5	15.9	19.3			0.1	0.0
(18)	昼休みや放課後、学校が休みの日に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか	3.2	15.9	24.7	25.8	30.1				0.2	0.1
		3.6	15.3	22.0	27.1	32.0				0.0	0.0
		3.5	15.2	24.2	27.8	29.2				0.2	0.0
(19)	家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか	54.3	25.2	16.6	3.7					0.1	0.0
		55.9	26.4	14.7	3.0					0.0	0.0
		53.2	27.2	15.6	3.9					0.1	0.0
(19)	家の人（兄弟姉妹を除く）は、授業参観や運動会などの学校の行事に来ますか	85.4	11.7	2.3	0.4					0.1	0.0
		84.0	13.1	2.4	0.4					0.0	0.0
		81.2	15.3	3.0	0.5					0.1	0.0
(20)	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	26.3	34.4	29.9	9.3					0.1	0.0
		42.1	38.5	15.9	3.4					0.0	0.0
		26.0	35.0	29.2	9.8					0.0	0.0
(21)	家で、学校の宿題をしていますか	88.3	8.5	2.3	0.7					0.1	0.0
		88.7	9.3	1.8	0.2					0.0	0.0
		86.0	10.5	2.8	0.6					0.0	0.0
(22)	家で、学校の授業の予習をしていますか	15.7	25.9	39.3	18.9					0.1	0.0
		26.0	36.8	28.7	8.4					0.0	0.0
		16.1	27.1	37.4	19.2					0.1	0.0
(23)	家で、学校の授業の復習をしていますか	20.5	32.0	33.1	14.3					0.0	0.0
		63.8	26.9	7.4	1.8					0.0	0.0
		21.9	32.1	31.1	14.9					0.1	0.0
(28)	今住んでいる地域の行事に参加していますか	40.6	30.4	16.9	12.0					0.1	0.1
		51.2	30.3	11.7	6.8					0.0	0.0
		37.7	30.3	18.7	13.2					0.1	0.0
(29)	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか	24.5	38.3	25.7	11.4					0.1	0.1
		29.5	43.4	20.1	7.0					0.0	0.0
		25.0	37.9	25.8	11.3					0.0	0.0
(30)	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	14.2	28.7	36.2	20.8					0.1	0.1
		17.7	38.4	31.3	12.6					0.0	0.0
		13.6	28.9	36.9	20.5					0.0	0.0
(31)	新聞を読んでいますか	10.7	18.2	23.0	47.9					0.1	0.1
		11.2	19.5	25.3	43.9					0.0	0.1
		10.0	17.1	22.3	50.4					0.1	0.1
(32)	テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか（携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含む）	50.5	33.2	10.0	6.2					0.1	0.2
		60.2	27.5	7.2	5.0					0.0	0.1
		53.8	30.9	9.3	5.7					0.1	0.2
(33)	学校のきまりを守っていますか	43.3	47.8	7.5	1.2					0.1	0.0
		47.2	46.6	5.6	0.6					0.0	0.0
		39.9	50.6	8.2	1.3					0.1	0.0
(34)	友達との約束を守っていますか	70.6	26.9	1.9	0.4					0.1	0.1
		74.4	24.1	1.2	0.3					0.0	0.0
		67.7	29.6	2.2	0.4					0.1	0.0

(文部科学省(2014)「平成26年全国学力・学習状況調査」児童生徒質問紙調査結果報告書)のデータをもとに筆者作成)

表2 平成26年度全国学力・学習状況調査 回答結果集計 [生徒質問紙] 岡山県・秋田県・全国一生徒(公立) 中学校調査

	生徒数	学校数		生徒数	学校数
岡山県(公立)	16,425	163	秋田県(公立)	8,482	124

1段目：岡山県の生徒数の割合(%) 2段目：秋田県の生徒数の割合(%)

※【その他】とは、『選択肢以外の回答や複数回答』されたものである。

3段目：全国(公立)の生徒数の割合(%)

質問番号	質問事項	選 択 肢								その他	無回答
		1	2	3	4	5	6	7	8		
(1)	朝食を毎日食べていますか	83.6	10.0	4.6	1.7					0.0	0.1
		83.8	9.7	4.7	1.8					0.0	0.0
(2)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	30.8	43.2	20.5	5.4					0.0	0.1
		34.6	46.0	16.2	3.2					0.0	0.0
(3)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	55.2	36.2	6.8	1.6					0.0	0.2
		61.6	33.1	4.5	0.8					0.0	0.0
(1 1)	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか(テレビゲームをする時間は除く)	18.3	16.9	25.4	25.9	12.0	1.4			0.0	0.1
		9.4	13.6	25.6	32.3	17.5	1.7			0.0	0.0
(1 2)	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯型のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか	12.8	10.2	15.9	21.5	25.3	14.2			0.0	0.1
		5.6	6.6	14.6	24.4	30.0	18.8			0.0	0.0
(1 3)	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか(携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く)	12.3	8.7	12.4	14.6	12.0	15.0	24.7		0.2	1.7
		4.9	6.0	12.1	16.5	12.7	11.7	35.8		0.3	0.0
(1 4)	学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)	6.4	18.1	34.3	21.0	12.8	7.3			0.0	0.1
		4.8	23.2	49.2	18.2	3.5	1.1			0.0	0.0
(1 5)	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)	4.3	8.1	18.8	27.9	26.7	14.0			0.1	0.1
		4.8	16.4	38.7	31.1	7.7	1.3			0.0	0.0
(1 6)	学習塾(家庭教師を含む)で勉強をしていますか	38.1	17.6	10.9	26.7	6.5				0.0	0.2
		69.3	7.1	6.1	13.6	3.7				0.0	0.0
(1 7)	学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)	7.5	9.2	15.3	20.7	14.3	32.9			0.0	0.1
		6.0	9.9	19.9	27.6	10.4	26.3			0.0	0.0
(1 8)	昼休みや放課後、学校が休みの日に、本(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか	3.5	8.6	13.2	21.9	52.6				0.0	0.2
		1.2	4.5	10.8	24.2	59.2				0.0	0.1
(1 9)	家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をしますか	43.1	30.4	20.4	6.0					0.0	0.1
		46.1	31.0	18.5	4.4					0.0	0.0
(2 0)	家の人(兄弟姉妹を除く)は、授業参観や運動会などの学校の行事に来ますか	41.9	30.7	20.9	6.4					0.0	0.1
		50.3	32.6	12.2	4.3					0.0	0.5
(2 1)	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	44.8	34.9	15.8	4.4					0.0	0.1
		49.9	33.2	12.6	4.0					0.0	0.4
(2 2)	家で、学校の宿題をしていますか	16.0	29.2	36.5	18.2					0.0	0.1
		23.3	39.3	29.9	7.5					0.0	0.0
(2 3)	家で、学校の授業の予習をしていますか	15.2	31.4	37.4	15.9					0.0	0.1
		63.5	24.6	8.8	2.8					0.1	0.1
(2 4)	家で、学校の授業の復習をしていますか	70.5	23.0	5.5	1.0					0.0	0.0
		63.7	24.5	8.7	3.0					0.1	0.1
(2 9)	今住んでいる地域の行事に参加していますか	9.8	21.9	36.9	31.1					0.0	0.2
		13.5	30.1	39.2	17.1					0.0	0.0
(3 0)	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか	11.0	23.2	37.6	28.0					0.0	0.2
		12.1	27.7	35.8	24.2					0.0	0.2
(3 1)	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	47.4	37.0	12.4	3.3					0.0	0.0
		17.5	32.9	32.1	17.5					0.0	0.1
(3 2)	新聞を読んでいますか	18.0	27.8	28.0	26.1					0.0	0.1
		21.6	29.1	26.5	22.7					0.0	0.0
(3 3)	テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか(携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含む)	16.6	26.9	28.3	28.1					0.0	0.1
		19.4	38.1	28.5	13.9					0.0	0.1
(3 4)	学校の規則を守っていますか	23.7	43.8	24.0	8.5					0.0	0.0
		18.5	37.1	29.7	14.5					0.0	0.1
(3 5)	友達との約束を守っていますか	9.0	23.3	39.7	27.9					0.0	0.1
		12.2	32.5	38.6	16.6					0.0	0.0
(3 6)	新聞を読んでいますか	8.5	22.7	41.3	27.4					0.0	0.1
		9.3	13.9	19.3	57.1					0.0	0.4
(3 7)	テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか(携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含む)	10.5	17.5	23.9	47.8					0.0	0.2
		8.0	13.1	19.1	59.4					0.0	0.3
(3 8)	学校の規則を守っていますか	48.3	33.7	11.0	6.3					0.0	0.7
		54.0	32.1	8.8	4.6					0.0	0.5
(3 9)	友達の約束を守っていますか	48.1	34.0	10.9	6.2					0.0	0.7
		58.3	34.3	5.6	1.6					0.0	0.1
(4 0)	学校の規則を守っていますか	58.7	37.4	3.2	0.7					0.0	0.0
		55.6	37.4	5.5	1.4					0.0	0.1
(4 1)	友達の約束を守っていますか	69.3	28.0	2.0	0.5					0.0	0.1
		71.4	26.7	1.5	0.4					0.0	0.0
(4 2)	友達の約束を守っていますか	65.8	31.3	2.3	0.5					0.0	0.1

(文部科学省(2014)「平成26年全国学力・学習状況調査」児童生徒質問紙調査結果報告書)のデータをもとに筆者作成

岡山県の生徒は、3時間以上は6.4%（秋田県4.8%、全国10.4%）、2時間以上は24.5%（秋田28.0%、全国35.1%）、1時間以上は58.8%（秋田県77.2%、全国67.9%）、30分以上は79.8%（秋田県90.0%、全国85.2%）である。

岡山県の生徒の普段の日の家庭学習の時間は、岡山県の児童の家庭学習時間よりも短く、秋田県や全国と比較して短い。また、特に全くしない生徒は、岡山県の場合7.3%（秋田県1.1%、全国5.7%）と秋田県や全国と比較しても多く、岡山県の生徒の普段の日の家庭学習の習慣化には課題がある。

土曜日や日曜日など学校が休みの日に1日当たりの勉強の時間は、岡山県の児童は、2時間以上が22.7%（秋田県30.0%、全国24.0%）、1時間以上が54.7%（秋田県82.1%、全国55.9%）、全くしない10.0%（秋田県1.2%、全国10.6%）である。岡山県の児童は、普段の日より学校が休みの日の方が、家庭学習時間が少なく、全国と比較しても少ないことは問題である。

土曜日・日曜日等に全く勉強をしない児童が、秋田県の児童は1.2%に対して、岡山県は10.0%と多いことも課題である。

岡山県の生徒の学校が休みの日の学習時間は、2時間以上が31.2%（秋田県59.9%、全国40.3%）、1時間以上が59.1%（秋田県91.0%、全国67.4%）、全くしない14.0%（秋田県1.3%、全国11.3%）である。学校が休みの日に全く勉強をしない岡山県の生徒は、秋田県と比較して、12.7ポイント多い。

岡山県と秋田県と全国で、図1「1日当たり1時間以上

と回答した児童（小学校6年生）・生徒（中学校3年生）の割合（%）」によれば、岡山県の生徒の月～金曜日の1日当たり1時間以上の学習時間は、全国平均より9.1ポイント、秋田県より18.4ポイント少ない。また、土曜日・日曜日等の1日当たり1時間以上の学習時間では岡山県の児童は全国平均より1.2ポイント、秋田県より27.4ポイント、岡山県の生徒は、全国平均より8.3ポイント、秋田県より31.9ポイント少ない。岡山県の児童・生徒の土曜日・日曜日等学校が休みの日の学習時間は短いことが課題である

家庭学習時間の目安は、小学生が「学年×10分」中学生では「学年＋1時間」程度が必要と指摘されている。

岡山県教育委員会は、独自に中学1年生を対象に岡山県学力・学習状況調査を実施している。

岡山県教育委員会（2013）は「平成25年度岡山県学力・学習状況調査報告書」において、岡山県の中学校1年生では、普段の日の1日当たりの学習時間が1時間より少なくなると正答率が低くなる傾向が見られ、学力の下位層（D層）は、「30分より少ない」「全くしない」の生徒の割合が多いと報告している。

岡山県の生徒の家庭学習時間は少なく、特に土曜日・日曜日等の学校が休みの日の家庭学習の時間を増加させることが喫緊の課題である。

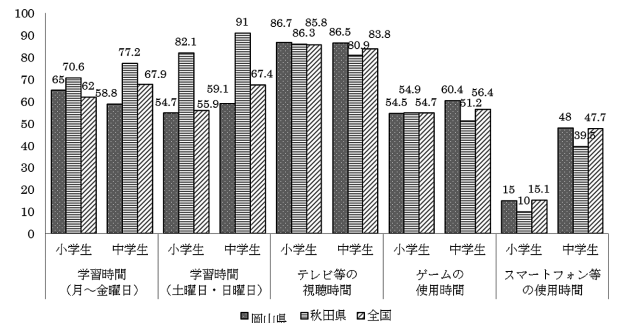
(2) テレビの視聴・テレビゲーム・携帯電話等の使用時間

「普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり聞いたりしていますか（テレビゲームの時間は除く）」の質問紙項目に対して、岡山県の児童は、3時間以上37.9%（秋田県33.8%、全国38.0%）、2時間以上62.1%（秋田県58.8%、全国61.3%）、1時間以上86.7%（秋田県86.3%、全国85.8%）、全く見ない児童は1.2%に過ぎない。

岡山県の生徒のテレビ視聴時間は、3時間以上35.2%（秋田県23.0%、全国31.5%）、2時間以上60.6%（秋田県48.6%、全国56.5%）、1時間以上86.5%（秋田県80.9%、全国83.8%）、全く見ない生徒は1.4%に過ぎない。

岡山県・秋田県及び全国の児童・生徒は、家庭学習の時間よりはテレビ等の視聴に多く時間をかけていることがうかがえる。また、岡山県の児童・生徒のテレビ等視

図1 1日当たり1時間以上と回答した児童（小学校6年生）・生徒（中学校3年生）の割合（%）



(文部科学省 (2014)「平成26年全国学力・学習状況調査」児童生徒質問紙調査結果報告書) のデータをもとに筆者作成)

聴時間は、3人に1人の割合で3時間以上テレビ等を視聴しており、全国や秋田県の児童・生徒よりもテレビ等の視聴時間が長い。

次に、「普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしていますか」の質問紙項目に対して、岡山県の小学6年生は、ゲームの使用時間は3時間以上17.1%（秋田13.2%、全国17.0%）、2時間以上30.6%（秋田27.1%、全国30.3%）、1時間以上54.5%（秋田54.9%、全国54.7%）、全くしない13.2%である。

岡山県の児童の3割近くが1日に2時間以上、半数以上の児童が、1時間以上テレビゲームを使用している。

岡山県の生徒のゲームの使用時間は、3時間以上23.0%（秋田12.2%、全国20.3%）、2時間以上38.9%（秋田26.8%、全国35.4%）、1時間以上60.4%（秋田51.2%、全国56.4%）、全くしない14.2%（秋田18.8%、全国16.8%）である。

1日当たり1時間以上テレビゲームをすると回答している全国の生徒の割合は、調査開始年度（平成19年度）以来増加傾向がうかがえる。

岡山県の場合、ゲームの使用時間は、児童より生徒の方が使用時間が長い。

秋田県の生徒と比較すると、使用時間の各質問時間項目において、岡山県の生徒は10ポイント程度使用割合が高い。また、4割近くの生徒が、1日に2時間以上テレビゲームを使用しており、家庭学習の時間より多く時間を使っていることは問題である。

次に、「普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間を除く）」の質問紙項目に対して、岡山県の児童の携帯電話等使用時間は2時間以上8.6%（秋田5.2%、全国8.7%）、1時間以上15.0%（秋田10.0%、全国15.1%）、30分以上24.8%（秋田17.5%、全国25.5%）、携帯電話やスマートフォンの未所持者は49.8%（秋田63.8%、全国46.3%）である。

岡山県の生徒の携帯電話等使用時間は、2時間以上33.4%（秋田23.0%、全国32.7%）、1時間以上48.0%（秋田39.5%、全国47.7%）、30分以上60.0%

（秋田52.2%、全国60.7%）、携帯電話やスマートフォンの未所持者は24.7%（秋田35.8%、全国23.5%）である。

岡山県の児童・生徒のスマートフォン等の未所持率は全国と比較してやや高い。

岡山県の児童・生徒の方が、秋田県と比較して使用時間が長く、岡山県の生徒のスマートフォン等の使用時間は約3人に1人は1日当たり2時間以上、半数近くが1時間以上使用しており、児童に比べて使用時間は多くなっている。

家庭においてスマートフォン等の使用時間や使い方を話し合うことが必要である。

（3）岡山県の児童・生徒の家庭学習の状況

岡山県の児童・生徒が学習塾（家庭教師も含む）に通っていない割合は、児童で50.6%（秋田77.4%、全国52.1%）であり、約半数の児童が塾に通っている。秋田県の児童の未通塾率は高く、岡山県の児童と比較すると26.8ポイントの差がある。

岡山県の生徒の未通塾者は、38.1%（秋田69.3%、全国39.5%）である。岡山県の児童・生徒の未通塾者は全国に近いが、秋田県と岡山県の生徒の未通塾者の割合は、31.2ポイントの差がある。なお、秋田県の児童・生徒の通塾率は全国最下位である。

「家で、自分で計画を立てて勉強していますか」の質問紙項目に対して、肯定的に回答した岡山県の児童は60.7%（秋田80.6%、全国61.0%）であり、「している」と回答した児童は、26.3%（秋田42.1%、全国26.0%）である。

岡山県の生徒が肯定的に回答した割合は、45.2%（秋田62.6%、全国46.6%）であり、「している」と回答した生徒は、16.0%（秋田23.3%、全国15.2%）である。秋田県の児童・生徒は、岡山県と比較して自主的に家庭学習に取り組んでいる割合が多く、児童で19.9、生徒で17.4ポイント高い。

秋田県の児童・生徒の「家で、自分で計画を立てて勉強している」と肯定的回答は、平成20年度調査では児童は54.2%（全国52.0%）であったが、平成26年度調査では80.6%（全国61.0%）であり、6年間に26.4ポイント（全国9.0ポイント）改善している。生徒は、41.7%（全国34.2%）から平成26年度は62.6%（全国46.6%）であり、

6年間に20.9ポイント（全国12.4ポイント）改善しており、全国平均と比較すると肯定的回答の増加率が高い。

これは、秋田県において「家庭学習ノート」の取り組みが全県的に行われており、教師が出す「宿題」とは別に児童・生徒が自分で課題を決めて自由に勉強する習慣が定着してきた状況がうかがえる。

「家で学校の宿題をしているか」の質問紙項目に対して、肯定的に回答した岡山県の児童は96.8%（秋田県98.0%、全国96.5%）であり、岡山県の生徒は、88.1%（秋田県93.5%、全国88.2%）であり、秋田県と比較すれば低い、全国平均に近い割合で宿題に取り組んでいる。

「家で学校の授業の予習をしているか」の質問紙項目に対して、肯定的な回答をした岡山県の児童は、41.6%（秋田県62.8%、全国43.2%）であり、秋田県の児童との差は21.2ポイントの差がある。岡山県の中学生は、31.7%（秋田県43.6%、全国34.2%）であり、秋田県との差は11.9ポイントがある。

岡山県の児童・生徒の家庭学習において、宿題に関しては、秋田県の児童・生徒と大きな差はなかったが、自主的に授業の予習に取り組んでいる割合は秋田県と比較すると11.9～21.2ポイントの差がある。

「家で学校の授業の復習をしているか」の質問紙項目に対して、肯定的な回答をした岡山県の児童は52.5%（秋田県90.7%、全国54.0%）である。秋田県との差は38.2ポイントの差がある。岡山県の生徒は39.8%（秋田県84.4%、全国50.4%）であり、秋田県とは44.6ポイント、全国とは10.6ポイントの大きな差がある。

岡山県教育委員会（2013）は「平成25年度岡山県学力・学習状況調査報告書」において、「家庭で自分で計画を立てて勉強をしていると肯定的に回答した生徒ほど正答率が高く、学力の下位層（D層）は、肯定的な回答をした生徒の割合が低い。家庭で学校の宿題や学校の授業の予習・復習をしている生徒ほど正答率が高い。また、学習した内容について、家で、自分なりに整理し直したり、より深く調べたりしているかの質問に肯定的な回答をしている生徒ほど正答率が高い」と報告している。

家で授業の予習・復習することにより学習内容の基礎・基本が確実に身に付くと指摘されており、岡山県の児童・生徒は、家庭で学校の授業の予習・復習を確実に行うなど家庭学習の内容を充実させることが必要である。

（4）岡山県の児童・生徒の基本的な生活習慣の状況

「朝食を毎日食べていますか」の質問紙項目に対して、肯定的な回答した岡山県の児童は95.9%（秋田県97.5%、全国96.0%）、生徒は93.6%（秋田県96.6%、全国93.5%）である。

「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」の質問に対して肯定的な回答した児童は、78.1%（秋田県84.1%、全国79.2%）、生徒は、74.0%（秋田県80.6%、全国74.1%）である。

「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」の質問に対して肯定的な回答した児童は、90.5%（秋田県93.7%、全国90.9%）、生徒は、91.4%（秋田県94.7%、全国92.1%）である。

岡山県の児童・生徒の生活では、毎日、朝食を食べることや毎日、同じ時刻に起きる（寝る）など基本的な生活習慣は、全国平均に近い状況である。

基本的な生活習慣、生活リズム、生活規律の確立（早寝、早起き、朝ご飯、テレビを見過ぎない、テレビゲームをし過ぎない等）が学力向上には重要である。

（5）家庭における読書について

「読書が好きですか」の質問紙項目に関して、肯定的な回答した岡山県の児童は76.0%（秋田県80.9%、全国73.0%）、生徒は70.7%（秋田県79.5%、全国69.4%）である。

「学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしていますか（教科書や参考書、漫画や雑誌を除く）」の質問紙項目に対して、30分以上と答えた岡山県の児童は39.1%（秋田県36.1%、全国38.2%）、生徒は32.0%（秋田県35.8%、全国31.4%）である。

全く読まない岡山県の児童は18.3%（秋田県16.4%、全国19.3%）、生徒は32.9%（秋田県26.3%、全国34.3%）である。

昼休みや放課後、学校が休みの日に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌を除く）を読んだり借りたりするために学校図書館・学校図書室や地域の図書館に週に1～3日以上行く岡山県の児童は19.1%（秋田県18.9%、全国18.7%）、生徒は12.1%（秋田県5.7%、全国8.0%）、月に1～3回程度以上行く児童は43.8%（秋田県40.9%、全国42.9%）、生徒は25.3%（秋田県16.5%、全国

18.9%)である。ほとんどまたは全く行かない児童は30.1% (秋田県32.0%, 全国29.2%), 生徒は52.6% (秋田県59.2%, 全国58.2%)である。

読書に関しては、岡山県の児童・生徒は全国を上回る傾向を示している。

(6) 地域や社会との関わり

「今住んでいる地域の行事に参加していますか」の質問紙項目に対して、肯定的な回答した岡山県の児童は71.0% (秋田県81.5%, 全国68.0%), 生徒は45.8% (秋田県50.7%, 全国43.5%)である。

「地域や社会で起こっている問題や出来事に興味がありますか」の質問紙項目に対して、肯定的な回答した岡山県の児童は62.8% (秋田県72.9%, 全国62.9%), 生徒は57.5% (秋田県67.5%, 全国55.6%)である。

「地域や社会をよくするため何をなすべきかを考えることがありますか」の質問紙項目に対して、肯定的な回答した岡山県の児童は、42.9% (秋田県56.1%, 全国42.5%), 生徒は、32.3% (秋田県44.7%, 全国31.2%)である。

地域との関わりについては、岡山県の児童・生徒の肯定的回答は、全国平均に近く、秋田県の児童・生徒とは約10～13ポイント低い。

岡山県・秋田県・全国ともに児童より生徒が地域との関わりが低下している。

地域の祭り等の行事に積極的にさせることにより、地域の一員としての自覚や多様な人と交流する力や礼儀やマナーを身に付けることができるため、社会に関心を持ち自ら関わろうという意識を育てることが求められている。

「新聞を読んでいますか」の質問紙項目に対して、週に1～3回程度以上読んでいると回答した岡山県の児童は28.9% (秋田県30.7%, 全国27.1%), 生徒は23.2% (秋田県28.0%, 全国21.1%)である。ほぼ毎日読んでいる岡山県の児童・生徒は約10%程度である。

「社会に関する興味・関心に関してテレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか(携帯電話やスマートフォンを使ってニュースを見る場合も含む)」の質問紙項目に対して、肯定的な回答した岡山県の児童は83.7% (秋田県87.7%, 全国84.7%), 生徒は82.0% (秋田県86.1%, 全国82.1%)である。岡山県

の児童・生徒の約半数が「よく見る」と回答している。

家庭でのコミュニケーション等に関しては、「家の人と学校での出来事について話をするか」の質問紙項目に対して、肯定的な回答した岡山県の児童は79.5% (秋田県82.3%, 全国80.4%), 生徒は73.5% (秋田県77.1%, 全国72.6%)であり、調査開始年度以降、増加傾向がうかがえる。

「家の人(兄弟姉妹を除く)は、授業参観や運動会などの学校行事に来ますか」の質問紙項目に対して、肯定的な回答した岡山県の児童は、97.1% (秋田県97.1%, 全国96.5%), 生徒は、82.9% (秋田県79.7%, 全国83.1%)である。

社会規範等に関しては、「学校のきまりを守っていますか」の質問紙項目に対して、肯定的な回答した岡山県の児童は、91.1% (秋田県93.8%, 全国90.5%), 生徒は、92.6% (秋田県96.1%, 全国93.0%)である。

「友達との約束を守っていますか」の質問紙項目に対して、肯定的な回答した岡山県の児童は、97.5% (秋田県98.5%, 全国97.3%), 生徒は、97.3% (秋田県98.1%, 全国97.1%)である。

児童・生徒は、学校の決まりより友達との約束を守る割合が高い。

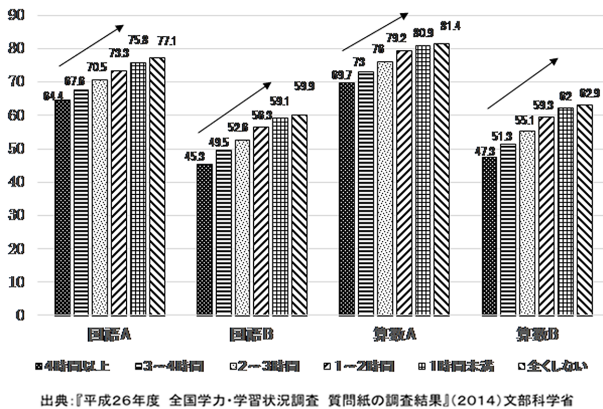
4. 児童・生徒の家庭学習や生活習慣等と学力との関係

文部科学省・国立教育研究所(2014)「平成26年度全国学力・学習状況調査質問紙調査報告書」によれば、児童が「普段(月～金曜日)、1日当たりテレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式ゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームを含む)をする時間と学力調査の平均正答率との関係」は、図2のとおりである。

国語Aでは、普段(月～金曜日)、1日のゲームをしている時間が4時間以上の児童の平均正答率は64.4%、全くしない児童の平均正答率は77.1%で、12.7ポイントの差がある。国語Bでは14.6ポイント、算数Aでは11.7ポイント、算数Bでは15.6ポイントの差がある。テレビゲームをしている時間が短いほど平均正答率は高い。

また、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットを使用する時間が短い児童・生徒の方が全

図2 テレビゲームの使用時間と平均正答率(%)との関係
(小学校6年生)



での教科(国語A, 国語B, 算数・数学A, 算数・数学B)において平均正答率が高い傾向がみられる。

肯定的な回答をしている児童・生徒の方が, 平均正答率が高くなる項目として, 次の質問紙項目を挙げている。

(家庭学習)

- ・学校の授業時間以外の普段の日(月～金曜日)や土曜日や日曜日など学校が休みの日の勉強時間が長い
- ・テレビゲームや携帯電話, スマートフォンを使用する時間が短い
- ・テレビの視聴時間が短い
- ・家で自分で計画を立てて勉強をしている
- ・家で学校の宿題をしている
- ・家で学校の授業の復習をしている

(読書は好き)

(基本的生活習慣)

- ・朝食を毎日食べている
 - ・毎日, 同じくらいの時刻に寝て(起きて)いる
- #### (家庭でのコミュニケーション)
- ・家の人と学校での出来事について話をする
 - ・家の人が, 授業参観や運動会などの学校行事に来る
- #### (社会に対する興味・関心)
- ・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
 - ・新聞を読んでいる

(テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る)

(規範意識)

- ・学校の決まりを守っている

5. 家庭学習の充実等の方策

家庭において学校での学習内容を予習・復習することにより, 基礎・基本が確実に身に付くと同時に分かる喜びや学ぶ楽しさを味わい学習に対して充実感を抱くことができる。このような経験を積み重ねることで家庭学習の習慣が身に付き, 生涯にわたって学び続ける態度の基礎を養うことができる。

家庭生活や家庭学習の充実を図るためには, 学校が保護者や児童・生徒に対して働きかけ, 児童・生徒の学力向上に向けて家庭・地域社会が連携して取り組む必要がある。

表3「平成26年度全国学力・学習状況調査学校質問紙調査結果データ」をもとに, 学校が保護者に対して, 児童・生徒の家庭学習を促すような働きかけの状況を考察したい。

「児童(生徒)に対して, 国語の指導として, 家庭学習の課題(宿題)を与えましたか」の質問紙項目に対して肯定的回答は岡山県の小学校は99.2%(秋田県94.1%, 全国99.4%), 岡山県の中学校は98.8%(秋田県84.7%, 全国90.9%)であり, 岡山県の小・中学校は秋田県より国語の課題を与える割合が高い。

「児童(生徒)に対して, 国語の指導として, 児童(生徒)に与えた家庭学習の課題(長期休業期間中の課題を除く)について, 評価・指導しましたか」の質問紙項目に対して, 肯定的回答は岡山県の小学校で97.7%(秋田県99.1%, 全国97.4%), 岡山県の中学校では98.2%(秋田県98.3%, 全国93.8%)であり, 秋田県の小・中学校の家庭学習の課題の評価・指導は, 徹底していることがうかがえる。

「児童(生徒)に対して, 算数(数学)の指導として, 家庭学習の課題(宿題)を与えましたか」の質問紙項目に対して, 岡山県の小学校で肯定的回答は99.5%(秋田県95.9%, 全国99.5%), 岡山県の中学校では99.3%(秋田県92.0%, 全国93.3%)であり岡山県の小・中学校は, 算数(数学)の宿題を与えている割合が高い。

「児童(生徒)に対して, 算数(数学), 児童(生徒)に与えた家庭学習の課題(長期休業中の課題を除く)について, 評価・指導したか」の質問紙項目に対して, 岡山県の小学校で肯定的回答は97.7%(秋田県99.0%, 全

表3-1 平成26年度全国学力・学習状況調査 小学校調査
 回答結果集計 [学校質問紙]
 岡山県・秋田県・全国 学校(公立)

		学校数		学校数																
岡山県(公立)		393		秋田県(公立)		220														
												1段目：岡山県(公立)学校の割合(%) 2段目：秋田県(公立)の学校数の割合(%) 3段目：全国(公立)の学校数の割合(%)								
質問番号	質問事項	選択肢									その他無回答									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9										
(80)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、国語の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与えましたか	88.8	10.4	0.8	0.0							0.0								
		61.4	32.7	5.9	0.0							0.0								
		82.7	16.7	0.5	0.0							0.1								
(81)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、国語の指導として、児童に与えた家庭学習の課題(長期休業期間中の課題を除く)について、評価・指導しましたか	65.6	32.1	2.0	0.3							0.0								
		67.7	31.4	0.9	0.0							0.0								
		65.9	31.9	2.0	0.0							0.1								
(82)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、算数の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与えましたか	90.6	8.9	0.5	0.0							0.0								
		67.3	28.6	3.6	0.0							0.5								
		84.9	14.6	0.4	0.0							0.1								
(83)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、算数の指導として、児童に与えた家庭学習の課題(長期休業期間中の課題を除く)について、評価・指導しましたか	66.7	31.0	2.0	0.3							0.0								
		69.5	29.5	0.5	0.0							0.5								
		67.9	30.1	1.7	0.1							0.1								
(84)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、保護者に対して児童の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか(国語/算数共通)	53.2	43.3	3.6	0.0							0.0								
		65.0	35.0	0.0	0.0							0.0								
		51.0	44.9	3.8	0.1							0.1								
(85)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか(国語/算数共通)	47.3	45.3	6.9	0.5							0.0								
		62.7	33.6	3.6	0.0							0.0								
		38.7	46.7	14.0	0.6							0.1								
(86)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりして宿題を与えましたか(国語/算数共通)	19.1	57.5	23.4	0.0							0.0								
		25.0	53.6	21.4	0.0							0.0								
		22.1	55.7	21.9	0.2							0.1								
(87)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、児童に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにしましたか(国語/算数共通)	38.4	52.9	8.4	0.3							0.0								
		63.2	35.0	1.8	0.0							0.0								
		33.9	54.3	11.3	0.3							0.1								

表3-2 平成26年度全国学力・学習状況調査 中学校調査
 回答結果集計 [学校質問紙]
 岡山県・秋田県・全国一学校(公立)

		学校数		学校数																
岡山県(公立)		163		秋田県(公立)		124														
												1段目：岡山県(公立)学校の割合(%) 2段目：秋田県(公立)の学校数の割合(%) 3段目：全国(公立)の学校数の割合(%)								
質問番号	質問事項	選択肢									その他無回答									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9										
(78)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、国語の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与えましたか	72.4	26.4	0.6	0.0							0.6								
		40.3	44.4	15.3	0.0							0.0								
		48.5	42.4	8.7	0.2							0.2								
(79)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、国語の指導として、生徒に与えた家庭学習の課題(長期休業期間中の課題を除く)について、評価・指導しましたか	57.1	41.1	1.2	0.0							0.6								
		55.6	42.7	1.6	0.0							0.0								
		49.3	44.5	5.7	0.3							0.2								
(80)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、数学の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与えましたか	74.8	24.5	0.0	0.0							0.6								
		58.1	33.9	8.1	0.0							0.0								
		53.0	40.3	6.3	0.2							0.2								
(81)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、数学の指導として、生徒に与えた家庭学習の課題(長期休業期間中の課題を除く)について、評価・指導しましたか	59.5	38.7	1.2	0.0							0.6								
		58.1	36.3	5.6	0.0							0.0								
		50.6	43.3	5.6	0.3							0.2								
(82)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、保護者に対して生徒の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか(国語/数学共通)	25.8	56.4	17.2	0.0							0.6								
		42.7	50.0	7.3	0.0							0.0								
		30.4	55.0	13.4	1.1							0.1								
(83)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか(国語/数学共通)	22.1	46.6	28.8	1.8							0.6								
		46.0	47.6	4.8	1.6							0.0								
		28.1	48.8	21.7	1.3							0.1								
(84)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりして宿題を与えましたか(国語/数学共通)	12.3	53.4	31.9	1.8							0.6								
		14.5	51.6	33.1	0.8							0.0								
		12.8	51.4	34.4	1.3							0.1								
(85)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、生徒に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにしましたか(国語/数学共通)	19.0	63.8	16.0	0.6							0.6								
		50.8	46.8	2.4	0.0							0.0								
		25.8	59.0	14.6	0.4							0.1								

(文部科学省(2014)「平成26年全国学力・学習状況調査」児童生徒質問紙調査結果報告書)のデータをもとに筆者作成)

国98.0%)、岡山県の中学校では98.2% (秋田県94.4%、全国93.9%) である。

家庭学習に関して評価・指導をよく行うほど、国語A、算数Aの平均正答率が高いと報告されている。

子どもに家庭学習の習慣を身に付けさせるためには、意図的に家庭学習の機会を作ることが大切であり、その有効な手立ての一つが「宿題」である。

宿題が義務的なものになったり負担感だけが残ったりする「つらいもの」となったりしないように基礎・基本の定着に加え、子どもが学ぶ楽しさを実感できるように授業内容との関連を図って予習的な宿題や復習的な宿題を工夫することが大切である。

「児童（生徒）に対して、保護者に対して児童（生徒）の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか（国語／算数・数学共通）」の質問項目に対して岡山県の小学校で肯定的回答は96.5%（秋田県100%、全国95.9%）である。岡山県の中学校では82.2%（秋田県92.7%、全国85.4%）である。岡山県の中学校において、「よくしている」と回答した学校は25.8%（秋田県42.7%）と16.9ポイント低く、岡山県の中学校は、家庭学習を促す働きかけを充実させることが必要である。

「平成26年度全国学力・学習状況調査報告書」（2014）によれば、小学校において全ての教科で平均正答率が5ポイント以上全国平均を上回る学校（A群）と5ポイント以上全国平均を下回る学校（B群）を比較するとA群の方が「保護者に対して児童の家庭学習を促すような働きかけをよく行った」と回答している割合が高い。

また、小・中学校において、「家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えた」学校の方が、すべての教科で平均正答率が高い傾向が見られると指摘している。

「児童（生徒）に対して、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか（国語／算数・数学共通）」の質問紙項目に対して、岡山県の小学校で肯定的回答は92.6%（秋田県96.3%、全国85.4%）、岡山県の中学校では68.7%（秋田県93.6%、全国76.7%）である。課題の与え方の教職員の共通理解については、秋田県の小・中学校は徹底されている状況がうかがえる。「よくしている」と回答した岡山県の中学校は、22.1%（秋田県46.0%、全国28.1%）であり、

秋田県と比較すると23.9ポイント、全国よりも6.0ポイントの差があり、岡山県の中学校は、校内で課題の与え方について共通理解を図り、同じ考えで全職員が指導に努めることが極めて大切である。

「児童（生徒）に対して、家庭学習の取組として、児童（生徒）に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにしましたか（国語／算数共通）」の質問紙項目に対して、岡山県の小学校で肯定的回答は91.3%（秋田県98.2%、全国88.2%）、岡山県の中学校では82.8%（秋田県97.6%、全国84.8%）であり、秋田県の小・中学校では、ほぼ全ての学校で児童（生徒）に家庭における学習方法を具体例を挙げながら指導している。「よくしている」と回答した岡山県の小学校は38.4%（秋田県63.2%）で秋田県とは24.8ポイント、岡山県の中学校は19.0%（秋田県50.8%）で31.8ポイントの差がある。岡山県の小・中学校では、「家庭学習の手引」を作成配布するなどして、家庭における学習方法を具体的に示す等の指導をさらに徹底する必要がある。

国立学校法人お茶の水女子大学（2014）は、「児童生徒の家庭の社会的背景（SES）から統計的に予測される学力を上回る成果を上げている学校」においては、児童・生徒に宿題だけでなく自主学習等に取り組みせ、教員が毎日チェック・コメントをしていることが共通していると指摘している。

矢ノ浦（2014）は、学力調査上位県である秋田県における「家庭学習ノート」の取り組みを次のように紹介している。

「秋田県では全県で毎日、子どもたちが自分自身の学習を振り返り、自ら考えて学習する家庭学習ノートが定着している。この家庭学習ノートの元は、昭和時代に行われた全国学力テストの結果に危機感をもった当時の先生方が授業改善を進めるとともに、家庭学習を奨励した。子どもたちが自主的に学習した家庭学習ノートは提出されたその日の内に教師のコメントを付けて返すのがポイントである。よい家庭学習ノートは掲示して他の子どもたちの見本にしています。また、家庭学習ノートには保護者の方もコメントを書くこともあり家庭の話題にもなっている。」

このように秋田県においては家庭における宿題や自主学習の習慣化の指導や働きかけが活発である。また、家

庭においても子どもが家で「家庭学習ノート」に取り組むことが当たり前であり、家族や地域の支援があることも強みである。

岡山県教育委員会（2013）は、「平成25年度岡山県学力・学習状況調査報告書」の中で、学習習慣の定着に向けては、引き続き、家庭学習の量や質、点検の仕方等小中学校が連携して指導の徹底を進めるとともに、学校と家庭・地域が一体となった取組の充実を図る必要があると指摘し、放課後学習サポート事業、ホリデーわくわく学習支援事業、家庭学習強化週間設定の促進、模範となる家庭学習ノートの募集とホームページへの掲載を挙げている。

また、岡山県教育委員会（2014）「平成26年度全国学力・学習状況調査 市町村別結果の概要」によれば、県教育委員会の今後の支援方策について、調査結果を受けて直ちに行うこととして、「家庭学習や生活習慣等につて、PTAへの積極的な働きかけ」を挙げている。

6. 家庭学習や家庭生活の状況と学力との関係

「平成26年度全国学力・学習状況調査報告書」(2014)は、児童・生徒の家庭の生活や家庭学習の状況と学力とは関係があると指摘している。

児童・生徒の学力向上を図るためには、学校の授業改善とともに家庭生活や家庭学習の充実や地道な積み上げが極めて重要である。

志水（2012）は、秋田県の家庭における学習習慣・生活習慣の充実を指摘している。また、早稲田大学（研究代表者田中博之）（2011）は、「全国・学習状況調査において比較的良好な結果を示した教育委員会・学校等における教育施策・教育指導等の特徴に関する調査研究」において、全国学力調査において上位に位置している秋田県・福井県に共通していることとして、「家庭の安定と家庭の教育力の均質な高さ、家庭における宿題や自主学習の習慣を付ける指導や働きかけが充実していること」「家庭の心理的・経済的・教育的安定性と豊かさが学校における学力向上の効果を上げる基盤となっている」と指摘している。

国立学校法人お茶の水女子大学（2014）「平成25年度全国学力・学習状況調査（きめ細かい調査）の結果を活

用した学力に影響を与える要因分析に関する調査研究」によれば、子どもの学力は、家庭の生活水準や保護者の学歴と密接に結びついており、家庭の社会的・経済的要素（SES）が高い児童・生徒の方が各教科の平均正答率が高い傾向が見られ、家庭生活と学力とは、強い相関があると指摘している。

Lowest SESでかつ学力が高い（A層）の児童・生徒（保護者）の共通した意識や行動等の7つの特徴を指摘している。

- ① 「朝食を毎日とる、同じくらいの時刻に寝る、同じくらいの時刻に起きる、テレビを見過ぎない、テレビゲームをやり過ぎない等、基本的な生活習慣・生活規律が確立している。
- ② 保護者が「子どもに本や新聞を読むようにすすめている」「子どもが小さいころ、絵本の読み聞かせをした」「子どもと一緒に図書館へ行く」など読書に関する働きかけをしてきている。
- ③ 保護者が普段子どもと勉強や成績のことについて話をする。
- ④ 保護者が子どもに対して高い学歴を期待し、学校外教育投資も行う。
- ⑤ 保護者が授業参観や運動会など学校行事によく参加している。
- ⑥ 児童生徒に家庭での学習習慣と学校規則を守る態度が身につけている。
- ⑦ 児童生徒が自分の考えを発表する機会が与えられていると感じている。

学力形成に重要とされている「ごく当たり前のこと」が「できる」「できている」ことが極めて重要であると指摘している。

また、子どもの学力が高くなる保護者の意識行動として、次の点を指摘している。

- ① 学校外教育支出が多い
- ② 子どもに決まった時刻に起こす（寝させる）ようにしている、毎日、子どもに朝食を食べさせている
- ③ 自分でできることはさせている、子どものプライバシーを尊重している、子どものよいところはほめる等して自信を持たせている
- ④ 本や新聞を読むように働きかけをしている、子どもと本の感想を話し合ったりしている、子どもが小さい

ころ絵本の読み聞かせをしている

- ⑤ 普段、子どもの勉強を見ている、計画的に勉強するようながしている、子どもが英語や外国の文化に触れるよう意識している
 - ⑥ 子供と一緒に美術館や劇場、博物館や科学館や図書館に行く
 - ⑦ テレビゲームで遊ぶ時間を限定している、携帯電話やスマートフォンの使い方についてルールや約束を作っている、これらを持たせていない
 - ⑧ 子どもから学校での出来事について話を聞いている、子どもと勉強や成績のことや友達のこと将来や進路や社会の出来事やニュースについての話をする
 - ⑨ 子どもに高い学歴を期待する
 - ⑩ 子どもが自立できるようにすること、人の気持ちが分かる人間になること、自分の意見をはっきり言えるようになること、将来の夢や目標に向かって努力することを重視する
 - ⑪ 学校の教育目標やその達成に向けた方策を知っている、学校や学級の教育活動に関する情報提供は役立っている
 - ⑫ 授業参観や運動会などの学校行事への参加、ボランティアでの学校の支援をよくする
- 保護者自身の生活や行動は、子どもの学力と深く関係しているとして、次のような保護者の家庭の子どもの学力は高いと報告している。
- ① 規則正しい生活を心がけている
 - ② 地域や社会で起こっている問題や課題、出来事に関心がある
 - ③ 本を読む
 - ④ テレビやインターネット、新聞で政治経済や社会問題に関するニュースを見る（記事を読む）

これらの児童・生徒の学力を高める家庭生活の在り方や保護者の望ましい意識行動等をPTA等で広報したり、学校便り等で家庭に伝えていくことが必要である。

7. ま と め

岡山県の児童・生徒の1日当たりの家庭学習時間は秋田県と比較して短く、全くしない割合も高い。特に岡山県の中学生の土曜日・日曜日等学校が休みの日の家庭学

習を充実させることが必要である。

岡山県の児童・生徒で、テレビ等を1日当たり2時間以上視聴する児童は、62.1%、生徒は60.6%、ゲームを1日当たり2時間以上使用する児童は30.6%、生徒は38.9%、スマートフォン等の2時間以上の使用する生徒は、33.4%であり、家庭学習時間に影響を及ぼしている。テレビ等の視聴時間やテレビゲームで遊ぶ時間を限定することや、携帯電話やスマートフォンの使い方についてルールや約束を作るように児童・生徒や家庭に働きかける必要がある。

家庭学習の内容について、岡山県の児童・生徒には宿題以外に自主的に授業の予習や復習する割合が低く、学校が積極的に家庭学習を促したり、家庭における宿題や自主学習の習慣を付ける指導や働きかけが充実させる必要がある。

また、岡山県の小・中学校において、校内で課題の与え方について共通理解を図り、同じ考えで全職員が指導に努めることや「家庭学習の手引」を作成配布するなどして、家庭での学習方法を具体的に示しての指導をさらに徹底する必要がある。

秋田県では、全県の小・中学校で「家庭学習ノート」の取り組みを実施しており、家庭学習の充実に成果を上げており参考にしていきたい。

家庭の心理的・経済的・教育的安定性と豊かさが学校における学力向上の効果を上げる基盤であり、児童・生徒及び保護者の家庭における意識行動と子どもの学力とは相関が明らかにされている。

岡山県において、児童・生徒の学力を高める保護者の家庭生活における意識行動や家庭生活で留意すべき事項をPTA等で広報したり、学校便り等で家庭に伝えるなど学校・家庭・地域が連携して児童・生徒の学力を向上させる必要がある。

【 引用・参考文献 】

- 菱村幸彦2010『戦後教育はなぜ紛糾したか』教育開発研究所
- 矢ノ浦勝之2014『秋田県式「授業の達人」10の心得』小学館
- 国立学校法人お茶の水女子大学2014「平成25年度全国学

力・学習状況調査（きめ細かい調査）の結果を活用した学力に影響を与える要因分析に関する調査研究」

文部科学省・国立教育研究所2014「平成26年度全国学力・学習状況調査 質問紙調査報告書」

岡山県教育委員会2013「平成25年度岡山県学力・学習状況調査報告書」

岡山県教育委員会2014「平成26年度全国学力・学習状況調査」市町村別結果の概要」

志水宏吉・高田和宏2012『学力調査の比較社会学国内編』明石書店

早稲田大学（田中博之）2011「全国・学習状況調査において比較的良好な結果を示した教育委員会・学校等における教育施策・教育指導等の特徴に関する調査研究」